

改善を通じ自己変革する 組織を目指して

株式会社 山清片山



代表取締役社長
片山恵畏子氏

株式会社 山清片山

代表取締役社長 片山恵畏子氏

静岡市葵区竜南3・16・18

TEL 054・246・3111

創業 明治25年(法人設立昭和36年)

■事業内容 建築資材卸、家具資材卸、ソーラーシステム販売、吹付断熱取扱。

木材とともに124年。建築資材の販売会社であることに立ち止まらず、総合建材商社としてお客様の価値創造を支援できるように自己変革を続ける組織として、更なる顧客価値創造企業を目指しております。

整理整頓の重要性を再認識

これまで、倉庫内の整理整頓を心がけ商品管理・在庫管理に取り組んできましたが、日々の業務に追われ整理整頓が追いつかず、次第に在庫が増え雑然とした倉庫が日常の見慣れた光景になっていました。

社内の当たり前が当たり前ではないことを再認識するため、専門アドバイザーの支援により倉庫内の4S活動を中心とした現場改善に取り組みました。

建材倉庫を中心とした4S活動

倉庫内は、商品が隅から隅まで置かれ、通路が塞がれた状態でした。整理

ができていないと、商品を探し出すまでに時間がかかるだけでなく、商品の所在が分かりにくいために、在庫があることに気付かず重複発注してしまうこともありました。

そのため、倉庫内商品置き場をブロック毎に整理し、並べ方の見直しを行いました。整理整頓が行き届くと雑然としていた倉庫内にスペースが生まれ、十分な通路が確保されるようになりました。見通しが良くなり、作業効率が向上しました。

在庫管理の見直し

ムダなく商品在庫をコントロールするため、これまで設けていた発注点管理をより精度の高いものとするために管理方法の見直しを行いました。

現場から迅速に発注できる仕組みを整えたことで、管理業務が大幅に軽減されました。また、日付を記した赤い札を商品(商品棚)に貼り、赤札作戦として目で見る整理を行いました。

レイアウトの見直し

「少量荷扱いで品目の多い商品」と

「大量荷扱いで品目の少ない商品」のレイアウト変更に取り組みました。注文頻度なども考慮し、より一層の効率化を図りました。

また、レイアウトの変更に伴い、倉庫内を区分けする線引き作業を実施しました。区画線により倉庫内の通路が確保され、商品保管場所が明確になりました。パレットで運搬できる通路幅を確保し、直置きしていた商品をパレットに載せる保管方法に改善し、品質管理を考慮したレイアウト変更を行いました。区画線からはみ出しを無くすることで、安全管理も向上しました。

全社的な改善活動へ

改善活動に取り組み始めた頃は、社員は受け身の姿勢でしたが、活動を通じて徐々に自分達から改善アイデアが出てくるようになりました。

アドバイザーが社員と一緒に現場に入り、社員の気持ちを引っ張ってくれたおかげで、改善リーダーを中心とした取り組みが短期間のうちに全社

[建材倉庫内]



置き場所の設定と現品表示



見通しが良くなり、探す・移動する等のムダがなくなり作業性が向上

的な活動に広がりました。アドバイザーからは、時間軸に沿って目標値を設定し、進捗度合いを数値化して取り組むノウハウを教えていただきました。改善活動を通じ、社員の意識を変える良い機会となりました。



改善活動に中心となって取り組んだ販売企画課長 富田氏(左)と物流課長 大須賀氏(右)

3現主義の徹底

支援アドバイザー
インダストリーシステム研究所



芹澤信正氏

改善活動には3現主義(現場現品現象)の考え方が重要です。現場で、現品を前にして(自分の目で見ると)、現実的に考える(肌で感じると)、「改善」の重要性をより深く理解することができます。

社員皆さんで4Sに取り組んだ倉庫内はスペースが拡大され、作業性も大きく向上しました。作業のしやすさを実感すると、改善することの意味が良く理解できると思います。今回の改善活動は、社長のリーダーシップにより、全社員が丸となって取り組むことができました。改善活動を通じ、社員に自主性・創造性が芽生え、社内全体の意識に変化が生まれました。

改善活動で得た成功体験を活かし、今後継続して品質管理・在庫管理・作業効率向上に取り組んで欲しいと思います。